



長田の内之木場にお住まいの佐藤トキさん(71歳)
今ではめずらしくなったお茶の葉の釜煎りを行っていらっしやいます。
昔は、どの家庭でも自家製のお茶は、このように作られていました。
煎った茶から漂う香ばしい匂いは、初夏の訪れを感じさせます。

今月の内容

消防団辞令交付式	2~3
東海地区北諸都城会の集い	4
ふるさとへの便り	5
紙面国際交流コーナー	6
いきいきさん	7
まちの話題	8~9
図書室だより	10
おしらせ	11~12

6月の納税
県町民税
1期

詳しくは
役場税務課へ
☎52-1111

住宅改造に助成
高齢者及び身体障害者住宅改造助成事業
この事業は、高齢者や障害者が快適な暮らしができるように住宅の改造をする場合その経費の一部を助成する制度で、今年度設けられました。詳しい内容については次のとおりです。
◎助成を受けられる人
高齢者
65歳以上で寝たきり(準ねたきり)及び痴呆性老人等
身体障害者
身体障害者で1級~3級の方
知的障害者
療育手帳(A)の方
◎助成の対象物
既存の居室、浴室、洗面所、台所、便所、玄関、階段、廊下又は、その他特に必要と認められるもの
※新築、改築及び増築は対象となりません。

愛の献血



5月の献血協力
三股町役場 59名(来庁者を含む)
献血の推進は、皆様の深い理解と協力がたいと実施できません。ご協力いただきありがとうございます。

◎助成額
最高百万円を限度として助成します。
※所得に応じて自己負担があります。
◎申請期間
7月1日(月)から7月22日(月)まで。
◎申請時に持参するもの
印鑑を必ず持参してください。なお、身体障害者、知的障害者で申請される方は、手帳も持参してください。
◎申請並びに問い合わせ先
三股町役場 福祉保健課
☎52-1111 内135

今後の献血の予定

■日時 6月26日(水)
午前9時~午後4時
■会場 都城東高等学校
■問い合わせ
役場町民生活課
☎52-1111 内線112番

「三股町の戦中・戦後史」
(戦争体験談)の募集

町では、戦争での貴重な体験を後世に伝え、2度と戦争の悲劇を繰り返さないように、戦後50周年を記念して「三股町の戦中・戦後史」を刊行することになっています。
つきましては、戦争での体験談を募集いたします。
応募資格
町内にお住まいの方なら、どんなでも応募できます。
応募方法
原稿用紙以外の紙に、表題(表題は自由)、住所、氏名、年齢、

今年、町内で発生した
交通事故(人身事故のみ)

平成8年4月30日現在
発生 21件
死者 0人
負傷者 23人

一般寄付



(株)ニッセンより、社会福祉協議会へ車椅子1台を寄付されました。ありがとうございます。
愛のご寄付
三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次のとおりいただきました。

電話番号を記入して、左記の要領でお送りください。
◎募集内容
①戦中・戦後の体験談について、4000字詰め原稿用紙2枚までにまとめてください。(未発表のものに限る)
②原稿は1人につき1編としします。
③原稿は、返却しません。
◎募集締切
平成8年9月30日(月)
◎応募先、問い合わせ先
役場生涯学習課
☎52-1111 内352
◎その他
応募された方全員に粗品を進呈します。

三股町の人口

平成8年6月1日現在
男 11,098人 出生 23人
女 12,219人 死亡 15人
計 23,317人 転入 100人
前月比 35人 転出 73人
世帯数 8,190戸(+11戸)

釘村	新津	山中	谷口	石坂	石坂	藤井	坂本	池田	山元	渡辺	山内	原	下村	戸田	原田
敬洋	津男	中哲	口保	坂イ	坂輝	井健	本喜	田正	元ク	辺久	内節	ユ子	サ子	田守	田一
父母	父母	父母	父母	子子	子子	子子	市市	正正	クク	久久	節節	子子	子子	守守	彦彦
敬二	敬二	弘弘	弘弘	子子	子子	子子	市市	正正	クク	久久	節節	子子	子子	守守	彦彦
(81)	(81)	(79)	(54)	(62)	(60)	(67)	(67)	(68)	(67)	(62)	(71)	(78)	(72)	(63)	(67)
植木	植木	池田	中原	中米	上新	上新	下新	東原	桐山	飯屋	桐山	山原	山原	山池	上米
五万	二万	五万	三万	三万	五万	五万	五万	一万	五万	五万	三万	三万	三万	三万	十万

住民の信頼と期待に応えます!

消防団員は、仕事もちながら、町民の身体・財産・生命を災害から守るために、火災・台風などの災害出動、行方不明者の捜索、災害の予防啓発活動など地域の奉仕者として活動しています。団員は、いったん災害が発生したら、仕事や家庭を犠牲にして現場に駆け付け、活動します。私たちの暮らしを守ってもらうために、なくてはならないのが「消防団」です。

新入団員24名に辞令

町消防団(中村修一団長、団員数160名)では、平成8年度新入団員辞令交付式を町議会議員や自治公民館長、消防・警察の関係者など来賓約200名の出席のもと5月7日(火)午後7時から勤労者体育センターで開きました。式では、中村団長から新副部長になった第2部の上石貞秋さん



宣誓する上石貞秋さん

(35)と第7部の吉行敬一郎さん(36)、新交通班員6名にそれぞれ異動辞令を、引き続き新入団員24名に辞令を交付しました。辞令交付の後、団員を代表して上石副部長が「良心に従って忠実に消防業務に取り組みます」と力強く宣誓しました。その後、消防協会都城支部長が



県消防協会長表彰の中西早苗さん

ら消防団活動に功労のあった第6部長の原口隆志さんに日本消防協会長表彰(功績章)、ラッパ隊隊員の中西早苗さんに宮崎県消防協会長表彰が伝達されました。

また、平成4年度に施行された消防団退団者の家族への慰労金(消防団在職歴5年以上の団員が退団した場合、その家族に対してその間の苦勞に報いるため支払われる)が、平成7年度退団者の家族17名に山元町長から交付されました。なお、今回を含め今までに59名の方に交付されています。新入団員の氏名、配属は次のとおりです。

- (年齢は、5月7日現在)
- 機動本部 山田 正人(29)
- 第1部 野瀬 幸一(29)
- 田尻 和吉(27)
- 第2部 中原 誠二(33)

- 第2部 上石 信秋(32)
- 政野 和彦(32)
- 畑中 辰博(31)
- 木下 勝広(29)
- 飯田 徳夫(23)
- 第4部 園田 勲(37)
- 時任 満昭(36)
- 鍋倉 政秀(31)
- 上村 秀美(45)
- 新坂 哲雄(44)
- 岩崎 修一(30)
- 中原 昭一(29)
- 大田原俊一(27)
- 第6部 新城 昌吉(34)
- 堀内 勝義(26)
- 福永 健二(25)
- 佐藤 孝(35)
- 横田 耕二(34)
- 森 孝一(31)
- 第7部 児玉 昭人(28)



退職慰労金の交付

消防団の始まりは大正初期

町消防団は、大正初期の「消防組織規則」に基づき、「三股村消防組」を創設したのが始まりです。当時は、6部制で構成され、約150名の組員が消火活動などにあたっていました。

昭和14年4月「警防団令」に基づき、名称が「三股村警防団」に改められ、全国的に警察消防として警察の指揮のもとに活動していました。

昭和23年「消防団令」によって、現在の「三股町消防団」の名称になり、警察消防から分離独立。

昭和25年には第1部から第10部まで編成され、昭和30年に初めて手引動力ポンプが整備されました。

昭和36年に行政区の改編に伴い、7つの地区公民館ごとに各1部を編成。さらに昭和42年には本部が設置され、条約定数150名

の8部体制が確立されました。

その間、消防施設整備が進められ、現在では消防車両14台、消防詰所8箇所、移動無線などが整備されています。

平成4年には消防団ラッパ隊が発足して、条約定数を160名に改正、現在に至っています。

消防団の指揮をとる団長の中村修一さん(59)は、団員歴38年、うち団長歴16年という超ベテラン、副団長の畑中和好さん(59)と共に町消防団員の中心となって活躍されています。

「自分たちの消防だ」という意識をもつこと。ぜひ、消防団の活動に対してご協力をお願いします。

深刻な団員不足

町消防団は、団員としての規律や技術向上を目的とした消防操法では県内でもトップレベルにあり

ます。2年に1度ある県大会では、過去5回優勝し、昭和61年には全国大会3位という成績を残しています。

また、住宅火災においては、消防設備の近代化が図られていることや団員の正確、迅速、冷静、沈着な行動により1件の延焼もみえていません。

このように、輝かしい歴史と伝統を持つ消防団ではありますが、今大きな問題に直面しています。それは、「消防団員の確保が難しい」ということです。この対策としては、地域住民の理解が最も大切なことで、消防団のための消防ではなく、地域住民の一人ひとりが



操法の模様

消防団の出動状況 (H7年度中)

区分	火災	風水害	演習訓練	その他	合計
回数(回)	22	2	10	17	51
延人員(人)	837	213	816	881	2,747

※その他は、行方不明者の捜索を含みます。

万一の災害に備えて

平成5年の夏、この年、過去にも例のない災害を私たちは経験しました。長期間にわたり、降り続いた雨、そして次から次に襲来した台風。特に、戦後最大級の台風13号は、猛威を振るい、自然の恐ろしさをまざまざと感じさせました。相次ぐ土砂災害、家の崩壊、道路の決壊、まさに三股町はパニックに陥りました。幸いにも、危険箇所周辺の住民は、消防団の誘導等により体育館、公民館等に避難。このことにより、ほとんど人的被害は発生しませんでした。

危険度Aに34箇所

町では、長雨や台風時に備えようと、6月7日に町内に点在する急傾斜地や土石流などの災害危険箇所調査を実施しました。

この調査は、毎年実施しているもの。当日は、自衛隊、県担当者、警察、消防署、地区代表

者、消防団、町関係者など約50名が最も危険とされている箇所を中心に、位置、地形、危険の程度を確認、今後の対策について協議を行いました。

調査の結果、急傾斜地61箇所、土石流40箇所、地すべり6箇所、溜池5箇所の計112箇所を、指定。このうち、34箇所が危険度の最も高いAランクに格付けされました。

危険箇所の地域住民だけに限らず、いつ、どこで、どんな災害が発生するか分かりません。いざという時のために、災害時の備えを整え、避難所、避難経路を確認するとともに、家族による災害時の話し合いも日ごろから行いましょう。



ふるさとへ思いをよせて

東海地区北諸都城会の集い開催

誰にとっても懐かしく思い出深い故郷。ふるさとへの愛着、心情をうまく表現したのが、室生犀星の詩句「小景異情」その2の冒頭にでてくる「ふるさとは、遠きにありて思うもの...」ふるさとを離れ、都会で暮らす人々の心の中には、望郷への強い思いがあるものです。

東海地方で活躍する北諸都城出身者で構成する東海地区北諸都城会（渡邊定義会長）は、そうした人々が集まって組織されたもの。平成元年の結成で、現在、愛知県内に在住する人たちを中心に約200名が加入。ともに、ふるさとの思いを語りながら、絆を深めています。



渡邊会長のあいさつ



三股出身者の方々



ふるさとへ熱い期待

第8回東海地区北諸都城会の集いが、5月26日、名古屋市の名城会館で、山元町長をはじめ市郡の関係者が来賓として招かれ、盛大に開催されました。

当日出席した会員は約130名。愛知県内に在住の会社員、公務員、事業主、主婦など顔ぶれは様々で、その多くは、年1回開催されるこの集いを楽しみに、1時間以上かけて集まった人たちでした。

会では、渡邊会長から「ふるさととは遠くにあるけれども、今日ほど近くにあるようです。今日だけ

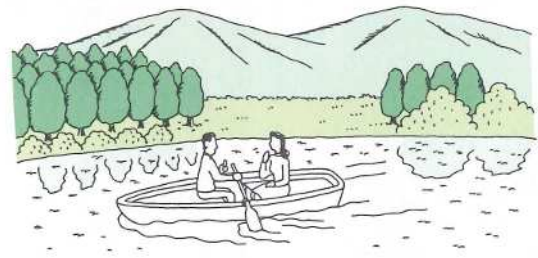
は、それぞれのふるさとについて、語り合っていたきたい。」と挨拶がありました。

山元町長は、「それぞれのふるさととは、皆さんの期待に応えられるよう一生懸命頑張っています。皆さんが自分のふるさとを誇れるように、盆地の市と町が一体となって頑張ってください。」と熱の入った言葉を述べました。

この日だけは、終始、都城弁で語り合い、参加者による小原節の踊り、ひよっここ踊り、カラオケなどが披露され、にぎわいました。

森と湖に親しむ旬間 7月21～31日

水とみどりから生まれる
まちづくり



ふるさとへの思い

新森 久美

(蓼池出身)



私は蓼池出身の新森久美です。父・盛儀、母・ミヤ（両親共他界）妻は下新出身の旧姓桑畑紀子、父・桑畑鶴雄（他界）、母・十子で、現在蓼池には長男夫婦、下新では母が生活しており、それぞれいつも皆様に大変お世話になっており誠にありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

三股町の皆様お元気でしょうか。ふるさとへの便りに指名されて最も苦手とするもので何を書いたらよいか大変困ったところで

すがペンを取らせてもらいます。まず、毎月「広報みまた」を拝見し、お陰様で生まれ育った町の色々な出来事や行事が、手に取るよう分かり、遠く離れていても三股の皆様と一緒に暮らしているようで大変心強く感じしております。これから先も楽しみにしております。

私は現在千葉県農林部農村整備課に勤務しており、農業農村整備事業を担当し、国と市町村のパイプ役として土地改良総合整備、農業集落排水事業等の推進及び予算（補助金）関係の仕事を主にしております。

やっぱり気になるのは我がふるさと三股町の農村の生活環境であります。私達が子供のころは農村のイメージは緑が豊かで、小川にはメダカが泳ぎ、子供達が元気に遊び、空気もきれいであったことが自慢であったと思います。しかし、最近の農村社会には都市化の波が押し寄せ、生活の様式が都市と変わらないようになっていきました。そのことは、下水道等の生活環境の整備が遅れているのが一般的であると思われれますが、我が故郷

郷三股町におかれましては、農村の下水道といわれている農業集落排水事業に現在特に重点を置かれ、農村の快適な生活環境作りを積極的に進めていらっしゃるのと同じ仕事をしています。今日だけしてこんなに喜ばしいことはございません。

さて、私の三股での思い出は、ひとつには子供の時、野球が好きで好きで隣近所や親戚の仲間とチームを作り、稲刈りの終わった田んぼや、からいも掘りの済んだ畑で草野球に明け暮れる毎日でありました。そして、夏休みなどには蓼池の他のチームや前日や今市の友達のチームと勝岡小学校等のグラウンドにおいて試合を行い、結果はどうであれ面白くて楽しくて、子供ながら友達が実に深まったもので、あの頃が今でも昨日のように懐かしく思われます。

毎年1回開催される在京三股会で逢う今市チームの主力選手でありました下沖氏とは、その当時の内容について話が弾み、お酒のつまみとなり最高に盛り上がりつております。

それからもうひとつ、私の心に強く焼きつき励みとなった景色があります。それは頂上から両裾にバランス良く広がっている霧島山です。特に、町内の田んぼにれんげの花が咲き乱れているところ眺めるその素晴らしい姿は、私にとつ

て何となく思いやりのある優しい山に思え、中学、高校の時悩みや困った時など頑張れよと元気づけてくれているような気がしたとても頼もしい山でありました。

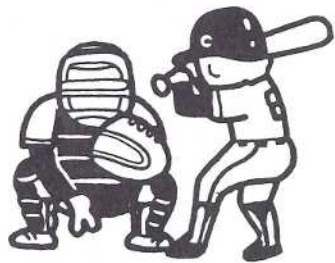
その気持ちは30数年過ぎた今でも仕事や人間関係等、難問、困難にぶつかった時など思い浮かべるだけでも勇気が湧き、心の支えのひとつとなっております。

ところで、先程少し触れました「在京三股会」であります。遠い三股からご都合をつけて出席して下さる町長さんを初め関係者の方々が一同に集まり、みんな同じ三股だからと、ざつとばらばらと和気あいあいとしたあの楽しい何とも言えない雰囲気、故郷を離れている私共としましては最高の懇親の場となっております。

話は変わりますが、私は富津市に住んでから今年の5月で丸13年になりまして、8年前から小学校区で編成している飯野少年野球クラブのコーチ兼事務局（甥が小4年で入部（現在高2年））したのが縁で、現在実弟（修）が監督として地域のボランティア活動に参加しています。お陰様で、子供の保護者やスポーツ関係者等とのふれあいに直直し、地域の方々のコミュニケーションが生まれてきました。今後も地域の人達とのふれあいを大切にしていききたいと思っております。

最後になりましたが、今でも最高にすばらしい三股町であります。今後ますます農業農村整備事業を推進され、生活環境のより整った住みよい明るい町の建設と三股町のさらなるご発展を心よりご祈念申し上げます。またまりのない便りとなりましたがこれぞ失礼します。

次号は盛田勉（宮村出身）さん
にリレーします。



そこで、皆様にお願いでございますが関東周辺に住まいの親戚、知人等の方に在京三股会が、「東京」で開催されていることを

紙面国際交流コーナー

韓国の思い



ジェイソン・ウィリアムズ

人間は将来の計画をよく立てても、これから何が起るかは誰も予測できないので、その計画に執着しない方が理想的でしょう。この間はそのことを痛切に感じさせられました。

それは、先月のサッカーの試合の時です。試合が終わる10分ぐらい前にタックルした時、足を蹴られ何か変な音が聞こえました。

翌日、町立病院で診察してもらったところ、骨にひびが入っていることが分かり、スポーツは4週間禁止と言われました。あの日まではマラソンのために練習して、体の調子が非常に良かったので、6月のスーパー・マラソンに参加して、その成績を広報紙で報告することを皆さんに約束したのですが、そのことはできなくなりました。残念です。

去年、三股に来たばかりの頃、右足のじんたいを切ったわけでは

が、今度のケガは左足、ちょうど均衡がとれていますね。3番目のケガを楽しみに待っています。

2年ぐらい前、18人の留学生と一緒に京都で勉強して、そのうちに親しい友達が4人できました。その時からずつとその友達のところへ遊びに行こうと思って、最近やっとできました。5月25日から1週間韓国のソウル市に行つてきて、その滞在中の時のことについて感想を少しだけ述べようと思います。

ソウルの空港に到着して、2人の友達を迎えに来てくれました。

そのうちの1人は、アメリカ人です。それから友達の家までは地下鉄で行きました。2年間会ってなかったのに、私達3人はいきいきして、沢山しゃべりました。韓国人の友達は英語がちよつとしか話せないで、3人の共通語は日本語でした。話している途中で韓国人の友人がいきなり私に「しばらく話さないでね。」と心配そうな顔でささやきました。私ともう1人のアメリカ人の友達は事情が分からなかったのですが、そばに立っていた中年の韓国人の男性2人がじつと怒りの目を私に投げ掛

けているのに気付きました。私はビックリして、相手の2人が暴れるのかと思い、万に備えるために立ち上がりました。相手の1人が、ずつと早口の韓国語でぶつぶつぶ言っていました。次の駅に止まった時、幸運にもその2人は降りました。後で友達は「日本語を聞くことで情もまだあちこちいるよ。」と説明してくれました。私は、このようなことは、初めての経験で、しかも韓国に着いて2時間も経たないうちの出来事だったので、深く印象が残りました。

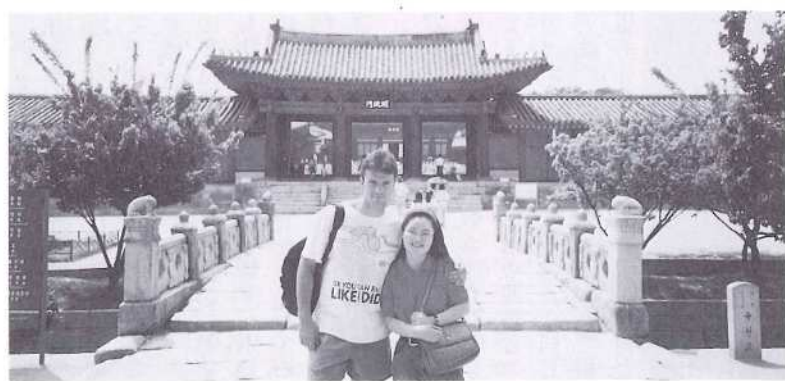
私は、韓国人と日本人を比べて、韓国の女性は、自信を持って町を歩いている姿やその場で怒ることをよく見掛けたので、日本人の女性に比べて気が強いのかな?と思いました。

実は、この友達のことからもそれは感じさせられました。彼女は、京都にいる1年間は、韓国人の友達に会っても、いつも日本語で話し、その声は、おとなしくて、きれいに響くと日本人からも聞いたことがありました。私は、ソウルに来て初めて彼女が韓国語をしゃべるのを聞き、その声の方はとても力強く、とても自信があるように聞こえたのです。

やっぱりそれぞれの言語によって響きが違う、聞く方の感じ方も違うのだと思います。私はイタリア語で活発的に話すしかならない

です。

また言葉のことでありますが、日本と異なっていて、韓国では男性と女性が使う言葉は一緒だと友達は話してくれました。もうひとつは滞在中の間、よく「テゲー」という言葉を耳にしました。よく三股でも耳にする言葉だと思って、意味は何かと聞くと、宮崎弁の「テゲ」と同じと言いました。面白いと思いません。遠い昔、九州の南は韓国と密接な関係があったということですが、この言葉はその証拠じゃない



いかと思います。

皆さん、韓国料理は辛いという印象を持っていますか? 私も韓国人はほとんど辛い食べ物を食べるという印象を前から持っていました。案の定、私達も最初は辛い料理が多く、それをいっぱい食べましたので、もう1人の友達は「なんでいつも辛いものばかり食べているの?」と聞きましました。私も同じことを思っていました。すると、彼女は笑いながら「外国人は良くそういう勘違いをするの。実は辛い食べ物も良く食べるのよ。」と説明しました。最初辛いものに慣れていなくて、食べて口から火が噴き出るように、それを消すためにアイス・クリームを山ほど食べないといけませんでした。そのうちに慣れて、韓国の料理は非常においしく感じて、口に合っていました。

韓国人は日本人よりいろんな味を混ぜるのが好きみたいです。巻寿司を2、3回食べましたが、中には肉とカニといろんな野菜が入って、日本人の口に合うかどうかと思いましたが、白い御飯はたまたま食べましたが、それより何かが入ったものの方を多く食べました。

ソウルでは地震が少なく、私が泊まった1階建ての古い家はほとんどレンガで造られ、屋根は瓦が敷いてあり、母国イギリスの家

いきいきさん ②



黒木夏巳さん

植木にお住まいの黒木夏巳さん(62)は、小品盆栽(観賞用の小さい盆栽)を作られ、その作品を役場に展示、話題となっています。

黒木さんが、花に興味を持ったのは、16年ほど前。その1年前に交通事故により重傷を負い、1年余り寝たきりの生活を送られましたが、家族の温かい愛情に支えられ、車いすに乗れるまでに回復。ある日、友人が蘭の展示会に連れて行ってくれ、花の美しさに心を奪われたそうです。「当時は、機会さえあれば友人に山へ連れて行ってもらい、蘭を探したものです。この頃は、立って歩けなかったので、四つんばいになって山に登り降り、洋服もまっ黒になりました。このことがきっかけで、自分の足で歩きたい」という気持ちが生えました。あの時、蘭に出会わなかったら今の私はなかったと思います。趣味が高じて、その後、蘭の栽培は本格的となり、「山採り名人」として機関誌や新聞なども取り上げられていたということ。

花は、生き甲斐、そして人生

小品盆栽の製作は、三股町に転居された平成2年から。当時、デパートで開かれていた展示会に行き、作品を見るや否や、蘭とは違う魅力に取り付かれ、現在までに約1、500余りの作品を製作。今では町外からも問い合わせがあるということです。

「作品は、多くの人が見ていただくことによって、生きてくると思っています。昨年の夏から、役場の受付や福祉保健課の前に7鉢ほどを展示。毎朝水をかけるために役場を訪れ、1週間たつたところで作品をすべて交換されています。」

その作品の素材は、道端などで見つけたものがほとんど。「私は自然を愛しています。採取するのは、木を切った後の切り株に残っていたものなどで、むみやたらに採ったりしません。作品を手がけるのは、子育てと一緒に。毎日毎日、愛情を込めて扱っています。」

深い愛情によって育てられた1つの作品が、小さい鉢の中に愛らしく、そして見事に映えており、黒木さんの優しさが感じられます。



歳時記

六月灯

六月灯といえは、旧薩摩藩領に古くから伝わり、都城・北諸郡郡内の夏をいづる伝統行事。

19代藩主・島津久光が、観音堂の落成祝いに灯籠を寄付。これにならって家臣や領民も灯籠を寄付したことに始まるといわれ、毎年、旧暦の6月(現在の7月中旬以降)に催しが行われていることから「六月灯」と呼ばれるようになったようです。

旧暦の6月といえは梅雨が明け夏の盛り。牛馬の病気が大流行したり、田畑に病害虫が発生する季節でもありました。その当時、「農民たちは毎晩夜明かしの灯を灯して無病息災・五穀豊穡を祈った」と伝えられています。時代とともにこの催しが祭の形態を成し、現在のような夏まつりとして定着したと考えられます。

現在の六月灯は、露店が並び、奉納踊りや花火大会等が行われるなど賑いをみせ、子供たちが奉納する灯籠には、マンガの主人公やスイカなどの夏の作物の絵が描かれています。

三股町内で

予定されている

六月灯

- 7月7日(日) 御年神社(大鷲巢)
- 7月15日(月) 東原守護神(東原)
- 7月15日(月) 諏訪神社(寺社)
- 7月18日(木) 馬頭観音(谷)
- 7月20日(土) 御崎神社(梶山)
- 7月23日(火) 早馬神社(蓼池)
- 7月25日(木) 稲荷神社(山王原)
- 7月26日(金) 薬師堂(梶山)
- 7月28日(日) かまど神社(勝岡)





研究員10名に委嘱状

町教育研究所の開所式が、5月10日に中央公民館で開かれ、平成8年度の研究員に町内小中学校の教諭10名が委嘱されました。

この研究所が発足したのは、平成元年度。すでに8年目を迎えました。

研究所では、毎年、研究主題を定めて協同研究を行い、その成果を教育研修会などの場で発表、教育水準と教職員の資質の向上を図るようにしています。

研究員は、次のとおりです。(敬称略)

日高千穂(三股小)	黒木美希(三股小)
鶴田裕一(勝岡小)	杉木祐二(梶山小)
池田弘美(宮村小)	溝口常彦(長田小)
池田朋子(三股西小)	守屋美樹(三股西小)
鈴木康伸(三股中)	小野智弘(三股中)

ライオンズクラブ結成15周年

三股さつきライオンズクラブ(会長 宮田重明)(大会委員長 蓬原正三)では、5月12日に町武道体育館で結成15周年記念式典を開催しました。

式では、宮田会長が記念事業として、文化ホール記念事業基金、町五差路交差点への時計台の設置、町への車椅子の寄贈、教育文化育成・青少年育成助成金として金一封、LCIFに基金として10,000\$の実施を宣言。

今後も、町の福祉の向上や教育文化発展のため活躍されるものと期待されます。



世界の料理づくりに挑戦

町教育委員会では、5月18日に「ワールドクッキングスクール」の開講式を行いました。この料理教室は、町としては初めての試み。

町内から応募のあった20名を対象に、県内の国際交流員を講師として招き、7月20日までの毎週土曜日に世界各国の料理教室を開催する予定です。

参加者は、世界の料理を作れるとあって胸を弾ませている様子。

それぞれの食卓が国際色豊かな料理で飾られる日は間近。



Photo Snap まちの話題



たくさん貯めましょう

町では、このほど町内の小学校1年生に貯金箱を贈りました。

この取組みは、貯蓄の推進を図ろうと15年前から毎年実施。

5月16日は、勝岡小学校の1年生に山元町長が1人ずつ渡した後、「むだ遣いをしないで、こつこつとお金を貯めて、欲しいものを買うときに使いましょう。」とあいさつ。

子供たちは、貯金箱を手「いっぱい貯めます。」と元氣よく返事をして、大変喜んでいました。

花火大会の成功に向けて

今年の夏に予定している花火大会の第1回実行委員会が、町内の各種団体の代表者を集め、5月22日役場4階大会議室で開かれました。

会では、それぞれに山元町長から委嘱状が交付され、三股の夏の夜空を彩る花火大会の成功に向け、熱心な協議が行われました。

協議の結果、8月17日(土)に三股橋上流河川敷きを会場として開催することが決まりました。



西村トシ子さんのつるひめ2号

手塩にかけた子牛の評価は？

今年度初めての和牛品評会が5月24日に町畜産センターで開かれました。

この日、出品された牛は、7月と8月のセリ市に上場される雌子牛で各地区から選ばれたもの。

発育状況や足腰の強さなどを技術員が審査し、順位が付けられました。

その結果、7月セリの部で谷の西村トシ子さん(つるひめ2号)、8月セリの部で前目の東節雄さん(さとみ号)がそれぞれチャンピオンに輝きました。

その他、優等賞に選ばれた牛の生産者は、次の方々

○7月セリの部(出品頭数18頭)

優等2席 馬渡 良美(仮屋)

3席 平田 国利(田上)

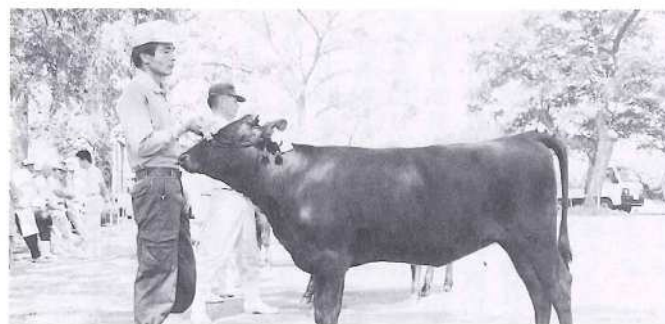
4席 野崎 定綱(勝岡)

○8月セリの部(出品頭数13頭)

優等2席 山内 和夫(梶山)

3席 石坂 治美(樺田)

4席 石坂ミサ子(樺田)



東節雄さんのさとみ号



県大会で活躍

5月25日、26日の2日間、県総合運動公園を中心に開かれた第50回県民体育大会に、町からは19種目155名が北諸県郡を代表して出場しました。

これに先立ち、5月18日、役場4階大会議室で本町選手団の壮行会が開かれました。会では、町長、町議会議長、町体育協会会長よりそれぞれ激励があり、その後、出場選手を代表して福田豊子さんが「日ごろの練習の成果を十分に発揮し、精一杯競技してきます」と力強く宣誓しました。なお、福田さんは来る8月27日、28日に東京で開催される全日本レディースソフトテニス大会に県代表として出場することが決まっています。本町出場選手の成績（3位入賞まで）については次のとおり

- ☆陸上競技 男子D (3,000m) 前田利保 優勝
- ☆ソフトテニス 一般女子1部 2位
- ☆テニス 女子 3位
- ☆卓球 壮年男子 3位
- ☆銃剣道 3位
- ☆小林寺拳法(組演武) 壮年男子(茂谷・細井組) 2位



宣誓をする福田豊子さん



図書室

だより 第100号

多読賞おめでとう

子供の読書週間(5月1日~14日)にちなみ、多読賞の表彰が5月21日、中央公民館で行われました。これは、今年4月までに読んだ本(図書室に限定)が、75冊に達した児童生徒が対象。21名が表彰されました。

特に、三股小3年の前田いずみさんは、225冊の本を読み多読大賞として表彰されました。表彰されたのは次の児童

氏名	学校名・学年
前田 いずみ	(三股小3年)
福山 ちほ	(三股小3年)
福田 真菜美	(三股小3年)
永盛 桃子	(三股小3年)
上西 香代	(三股小3年)
宇都野 洋輔	(三股小4年)
豊満 綾	(三股小4年)
上石 真実	(三股小5年)
上西 明子	(三股小5年)
上村 與喜	(三股小5年)
永瀬 舞	(三股小5年)
前田 優美	(三股小5年)
永瀬 かおり	(勝岡小5年)
山元 理恵	(三股小6年)
河野 綾文	(三股中1年)
栗野 智子	(三股中1年)
木幡 優	(三股中1年)



多読大賞で表彰される前田いずみさん

- 【一般向】
- 後悔しない生き方33の鉄則 櫻井秀勲
 - 夢幻の山脈 西木正明
 - トリエステの坂道 須賀敦子
 - ホンの幸せ 水室冴子
 - 若い人たちの人生アドバイス W・コベット
 - 庭のデザイン実例集全5巻 三橋一夫ほか
 - 本を読む日曜日 俵 万智
 - 大蔵省分割論 佐高 信
 - 君も雑器栗われも雑器栗(上・下) 渡辺淳一

- 【小・中学生向】
- 宮沢賢治絵巻話集 全15巻
 - 小公女 バーネット
 - 若草物語 オルコット
 - 三銃士 デュマ
 - 十五少年漂流記 ペルヌ
 - マッチ売りの少女 アンデルセン
 - ふしぎの国のアリス キャロル
 - アルプスの少女ハイジ スピリ
- 【幼児向】
- かみしばい ヒツジさんのけいと 田沢梨枝子
 - かみしばい もりのパンやそうじょう 西内ミナミ
 - かみしばい まほうつかいのナナ 平井貴子
 - ふとんやまトンネル 那須正幹
 - おかあさんがおかあさんになった日 長野ヒデア子
 - とうさんかあさん 長野ヒデア子

7月の休館日(中央公民館図書室)

日	月	火	水	木	金	土
①	1	2	3			
②	8	9				
③	15	16			20	
④	21	23				
⑤	29	30				

数字は休みの日。21日は、第3日曜日。

まのしまんぢだ

●都城市

●第4回大淀川サミット特別記念事業 ビオトープの夕べ

日時 7月6日(土) 午後7時~

会場 都城市民会館

内容 ジャズピアノスト 河野康弘

入場料 小・中高生 500円 大人 1,000円

●問合わせ 緑の村「遊」 ☎371-2928 広域圏事務局 ☎231-7866 (株)みやこ印刷 ☎231-1682

●開催期間 6月25日(火)~6月30日(日)

●会場 都城市立美術館

●問合わせ 都城市立美術館 ☎251-1447

●山之口町

●村おこし朝市

日時 7月14日(日) 午前6時~

会場 JR山之口駅前広場

内容 新鮮農産物販売

●問合わせ 役場企画開発課 ☎571-3111

●高城町

●96高城ロマンフェスティバル 秀島盆地イカダくんだり大会

日時 8月24日(土)午前8時30分~

●コース

大淀川河川特設コース

●参加申込み 6月末までに高城町社会教育課まで

●問合わせ 役場社会教育課 ☎581-2317

●高城町子どもキャンプ場開業

●開催期間 7月1日(月)~9月30日(月)

●場所 観音池公園東側

●問合わせ ふれあいセンター ☎581-6139

●未吉町

●天地総子生涯学習講演会

日時 7月5日(金) 午後7時~

会場 未吉町総合センター

●入場料 無料

●問合わせ 役場生涯学習係 ☎761-1120

●第1回ドラゴンボートレース大会

日時 6月30日(日) 午前9時~

会場 大淀川特設会場

●内容 各種レース大会

●問合わせ 役場社会教育課 ☎761-1121

7月1日から、ゴミは指定袋で!

7月から、ゴミの収集を町指定ごみ袋によって行います。指定ごみ袋以外の袋で出されたごみは収集できなくなりますので、協力をお願いします。 問合わせ 役場町民生活課 ☎52-1111 内線112番

おしらせ



町立病院院長に

中村 茂氏

町立病院長の叶昭人氏が5月末で退職されたのに伴い、後任に国立療養所宮崎病院内科医長だった中村茂氏が赴任されましたのでお知らせいたします。

就任のあいさつ



院長 中村 茂

このたび、6月より三股町立病院に勤務させていただくにあたりご挨拶を申し上げます。

町立病院での勤務は、平成4年6月から1年余り内科医師として勤めさせていただき、初めてではありません。

少しばかり私自信の診療領域について紹介させていただきますが、内科一般を専門としておりますが、宮崎医大(第1内科)では

新刊図書のお知らせ

書名 著者名

- 【一般向】
- 後悔しない生き方33の鉄則 櫻井秀勲
 - 夢幻の山脈 西木正明
 - トリエステの坂道 須賀敦子
 - ホンの幸せ 水室冴子
 - 若い人たちの人生アドバイス W・コベット
 - 庭のデザイン実例集全5巻 三橋一夫ほか
 - 本を読む日曜日 俵 万智
 - 大蔵省分割論 佐高 信
 - 君も雑器栗われも雑器栗(上・下) 渡辺淳一

- 【小・中学生向】
- 宮沢賢治絵巻話集 全15巻
 - 小公女 バーネット
 - 若草物語 オルコット
 - 三銃士 デュマ
 - 十五少年漂流記 ペルヌ
 - マッチ売りの少女 アンデルセン
 - ふしぎの国のアリス キャロル
 - アルプスの少女ハイジ スピリ
- 【幼児向】
- かみしばい ヒツジさんのけいと 田沢梨枝子
 - かみしばい もりのパンやそうじょう 西内ミナミ
 - かみしばい まほうつかいのナナ 平井貴子
 - ふとんやまトンネル 那須正幹
 - おかあさんがおかあさんになった日 長野ヒデア子
 - とうさんかあさん 長野ヒデア子

江藤教授のもとで、循環器疾患、その中でも特に高血圧症やその合併症の診断治療等について研究してまいりました。その他、腎臓病、心臓病、消化器病(内視鏡など)、また第3内科や国立療養所で、神経疾患(脳卒中など)、糖尿病、呼吸器疾患(気管支ぜん息、肺結核など)などについても、それぞれの専門家のもとで研修してまいりました。

三股町は、すばらしい水にも象徴される豊かな自然に恵まれながら、なおかつ人口も増加し、宮崎県の中でも発展地であると思えます。このようなすばらしい環境の中で診療する機会に恵まれ光栄であると思っています。

これから、町立病院院長として、そして内科医師として少しでも三股町の皆様のお役に立てるよう心を引き締めて勤務させていただきますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

退任の「あいさつ



叶 昭人

昭和60年4月、三股町立病院院長に就任して早11年余りが経ちま

した。公立病院としての使命を十分発揮したとはいえませんが、皆様のご支援により大過なく過ごしてこれました。これも一重に町民の方々の温かいご指導の賜物と感謝に耐えられません。心からお礼申し上げます。

高齢化社会に向かって、保険・医療・福祉の連携を理念とし、多くの方々のご協力をいただき努めてまいりました。

病院の敷地内には、デイ・サービスや健康管理センター、そして在宅介護支援センターなどそれぞれの施設が整い、これから内部の充実と連携が図られなければならないと思います。町民の誰でも、いつでも利用できる、多くの町民の方々が本当に健康で明るい幸福な生活が送られるように切望してやみません。

最後になりますが、新院長の中村茂先生をよろしくご支援の程お願ひ申し上げます。

町民の皆様のご支援により、この町立病院が高齢化社会に向かって、立派に貢献されることを御祈念申し上げますとともに、町民の皆様のご健康と御多幸を心より願っております。永い間本当にありがとうございました。

